

## 2022年度事業計画書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 こどもソーシャルワークセンター

### 1 事業実施の方針

- ・以下の事業を確実に実施することを目標とする。
- ・ユースホーム事業、ヤングケアラー支援事業を軸に若者支援のモデル化を目指す。
- ・事業内で職員やボランティアのスーパーヴィジョンや研修の場をつくる。
- ・法人内で完結する事業から活動を地域に広めるネットワークづくりに力を入れる。
- ・事業実施のための組織基盤整備に努める。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
家庭に福祉課題を抱えて地域で生活する子ども若者へのソーシャルワーク事業	「トワイライトステイ事業」 要支援家庭の子どもたちの夕方から夜の時間を地域住民が支え、生活支援や学習支援を行い、必要に応じて宿泊を伴う活動。	(A)300日／年 (B)当法人事務所 (C)3名	(D)要支援家庭の子ども (E)登録15人 (のべ720人)	4000(3000)
家庭に福祉課題を抱えて地域で生活する子ども若者へのソーシャルワーク事業	「日中居場所事業（「ほっ」とルーム）」 不登校や集団が苦手な子どもの日中や要支援家庭の休日の居場所活動。地域住民の力を借りながら学習支援や文化・スポーツなどの体験活動。	(A)300日／年 (B)当法人事務所 (C)3名	(D)不登校や要支援家庭の子ども・若者 (E)登録15人 (のべ720人)	3000(2000)
家庭に福祉課題を抱えて地域で生活する子ども若者へのソーシャルワーク事業	「こども食堂事業（eatalk）」 地域のつながりを必要とする子ども若者たちが参加できる食を通じた週末の夕食を中心とした居場所活動とフードパントリー活動。	(A)50日／年 (B)当法人事務所 (C)3名	(D)居場所を必要とする子ども若者 (E)登録20人 (のべ400人)	1000
家庭に福祉課題を抱えて地域で生活する子ども若者へのソーシャルワーク事業	「ユースホーム事業」 生きづらさを抱える若者たちがユースホームを中心に居場所、ボランティア体験、就労活動を行う活動。	(A)240日／年 (B)ユースホーム (C)3名	(D)生きづらさを抱える若者 (E)登録20人 (のべ100人)	12000 (12000)
家庭に福祉課題を抱えて地域で生活する子ども若者へのソーシャルワーク事業	「ヤングケアラー支援事業」 ヤングケアラーであるピアサポーターによるヤングケアラーの子ども若者への居場所、アウトリーチ、オンラインサロン活動。	(A)80日／年 (B)当法人事務所 他 (C)3名	(D)ヤングケアラー (E)登録20人 (のべ200人)	5500(5500)
家庭や地域、学校など子ども若者を取り巻く地域へのソーシャルワーク事業	「社会啓発事業」 講演や実践報告。視察や取材受け入れを通しての社会啓発活動。	(A)36回 (B)当法人事務所 他 (C)1名	(D)市民 (E)多数	1000
家庭や地域、学校など子ども若者を取り巻く地域へのソーシャルワーク事業	「こどもネットワークづくり事業」 こどもソーシャルワークに関わるネットワーク構築のための活動。	(A)6回 (B)県内市内各地 (C)3名	(D)関係機関 (E)多数	50

子ども若者支援に関わる団体とのネットワーク事業	「高校内居場所事業」 昼休みや放課後の高校内に地域住民による居場所を提供するアウトリーチ活動。	(A) 28回 (B) 大津清陵高校 (C) 8名（他団体5名）	(D) 高校生 (E) のべ500人	100
子ども若者支援に関わる団体とのネットワーク事業	「ハピハピカット」 ネグレクト、生活困窮、ひきこもりなど理美容につながりにくい子ども若者を理美容とつなげる活動。	(A) 6回 (B) 地域の理美容室 (C) 3名	(D) 生活困窮、ひきこもり等の子ども・若者 (E) のべ5人	50
子ども若者支援に関わる団体とのネットワーク事業	「ワーカー派遣事業」 子どもソーシャルワーカーを必要とする団体や活動へワーカー等の専門家派遣活動。	(A) 80回 (B) 立命館守山中高 (C) 3名	(D) 関係機関 (E) 多数	2000

## (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
ソーシャルワーカー養成研修事業	「子どもソーシャルワーカー養成事業」 実習や研修会を通して子どもソーシャルワークを実践的に学ぶ	(A) 100日／年 (B) 当法人事務所 他 (C) 3名	(D) 社会福祉士養成校の学生等 (E) 14人	300

## 助成金・補助金一覧

- 滋賀県 ヤングケアラー支援体制強化事業（550万円）
- 大津市 子どもの居場所事業（500万円）
- まちとしごと総合研究所 休眠預金等活用法に基づく「生きる基盤を失った若者の生活支援事業」助成金（1200万円）
- Panasonic NPOサポートファンド for SDGs助成「組織診断コース」（100万円）